

耐指紋性高機能コーティング

FG3

ファインガード3 処理ステンレス意匠鋼板の メンテナンス&クリーニングガイド (ご使用上の注意)

このたびは本製品をご使用いただきありがとうございます。FG3 処理は、弊社の意匠鋼板上にシリカ系無機質の皮膜を約 1 μ 被覆したものであり、親水性被膜で、耐汚染性・耐指紋性に優れた製品です。本製品を正しくお使い頂くため下記のメンテナンス・クリーニング方法を必ずお読みください。

<日常のお手入れ>

- (1) 表面に付着したゴミや砂などは、**表面に傷をつけないように払い落してください。**
表面に細かい凹凸があります。触感でザラツキを感じられることがありますが、これは、指紋等を目立ちにくくする効果を有しているもので、汚れではありません。
- (2) 汚れ、指紋等が付着し目立つようになりましたら、**傷がつかないよう柔らかい布、脱脂綿又は不織布に水を含ませ、軽く表面をぬぐってください。** すぐ落ちない場合は、水で濡らししばらく時間をおくと、水が汚れの下に浸透し、汚れが浮き上がってきます。あとは軽く拭きとると汚れが除去できます。水がはじかれ、浸透しないようであれば水分を含んだ布等で水を刷り込むように数回軽くこすってください。そうすることで、水がなじみ徐々に汚れが浮き上がってきます。



- (3) 汚れをふき取った後は、**柔らかい乾いた布で水分を拭き取ってください。** 強くこすらないようにして下さい。(そのままにすると、汚れの原因となります。)



※シール等を粘着剤で張り付けている箇所はその周りに水をあまりつけないようにして下さい。シール等が剥がれてくる場合があります。(周りに水が残った場合は直ちに乾いた布で拭き取ってください。)

<汚れがひどい時・落ちにくい時>

- (1) 表面の水のはじきが出てきましたら、水ぶきを数回繰り返してください。
- (2) 汚れがひどく水のみでは取れにくい時は、中性洗剤を 10 倍ほどに薄めて洗浄し、水で拭きとってください。
- (3) 樹脂や塗料などが付着し、乾燥し固着しますと、水では取れなくなります。好ましくありませんがこのような場合は有機溶剤等で溶かして除去してください。有機溶剤等を使用すると、FG3 の凹凸の中に汚れを閉じ込めるようになり、その後の耐汚染性、耐指紋性の低下につながりますので、**必ず最後は水で拭き取ってください。**
- (4) 過酸化水素、酸性、アルカリ性の洗浄液等は使用を避けてください。(酸やアルカリの入った市販のステンレスクリーナーの使用も避けてください)

<その他>

- (1) 製品出荷時、保護膜や養生シートの粘着剤の影響で汚れが落ちにくい場合がありますが、水による清掃を繰り返すことで除去しやすくなります。
- (2) 汚染物によっては長時間放置しますと、FG3 の塗膜に影響を及ぼす場合がありますので、異物が付着した場合は速やかに除去してください。

<FG3 加工・設置会社様へ製品の保管・加工についてのごお願い>

- (1) **保護膜が貼られた状態では極力水に濡らさないように保管してください。** 濡れた場合、親水被膜のため保護膜が浮きあがり剥がれる場合があります。
- (2) **保護膜を貼った状態では長期保管は避けてください。** 長期間保管や保管環境が厳しい条件下の場合、変質し糊残り、表面のシミ、クモリ、ムラ等の外観上の不具合が発生する恐れがあります。また、気泡を抱きこんでいる場合、気泡跡が残る恐れがありますのでご注意ください。
- (3) Vノッチ加工等実施される時に冷却水、機械油が保護膜の下に入った場合は直ちにウェス等で拭き取るとともに、乾燥後に、**保護膜を貼り替えるか端面部を粘着テープ等で補強してください。**(FG3 の変質や保護膜のはがれの原因となります)
- (4) また、設置後も風雨により保護膜が剥がれる場合や、また壁工事等により保護膜をはがした場合は、粘着テープ等で再度、補強してください。
- (5) **施工後 FG3 表面にモルタル、セメントなどアルカリ系の物質が付着しますと表面が変質する場合があります。**
- (6) FG3 処理の製品の素地に達するような、傷をつけた場合は修復することはできません。工事等で他部材をぶつける可能性の大きい場合は合板等で、養生をお願いします。
- (7) FG3 の処理面にシールや粘着テープ(点字シール等)を貼り付ける場合、FG3 の特性上、粘着力が落ちる傾向にあります。また、清掃等で水が浸透しますと剥がれる場合があります。粘着シール等を貼る際は貼り付け面を十分に乾かし事前の確認の上ご使用ください。
- (8) 保護フィルムについて、製品出荷時には専用のフィルムを貼付しておりますが、加工・施工時にフィルムを貼り替える場合は、「**ポリエチレン製フィルムにアクリル系粘着剤のもの**」をご使用ください。(当社推奨：日東 SPV6030) **塩ビ系フィルムやゴム系、酢酸ビニル系粘着剤のものは使用しないでください。**(可塑剤等の影響で FG3 表面が変質する場合があります)
- (9) 接着剤は電気化学工業製ハードロック(2 液性アクリル系)、コーキング剤はプライマー+コーキング(変性シリコン系)について接着実績がありますが、メーカーにより性質が異なりますので加工される際は事前にご確認の上、ご使用ください。

FG3 の処理製品は保護膜(又は養生シート)が貼られた状態で FG3 皮膜と保護膜の間に水や油が入り、そのまま乾燥させると、保護膜の粘着剤成分の一部が溶け出し、FG3 の皮膜の中に浸透・固定化され、変質や剥離する場合があります。上記のとおり、予防していただきたくお願いたします。

お問い合わせ

日鉄ステンレスアート株式会社

本社・工場 〒661-0965 尼崎市次屋2-2-24
TEL: (06) 6499-1157 (代) FAX: (06) 6498-6060

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-5
(月星ビル 6階)

TEL: (03) 3553-3155 (代) FAX: (03) 3553-3158

お願い

このパンフレットは最終メンテナンスされるお客様にもお渡しください。
部数が必要な場合は日鉄ステンレスアート・営業部までご連絡ください。